



学校だより

1学期の様子

坂城高等学校 教頭 丸山純一



▲さかきつずフェスタでMCを務めた2人



▲ダンス部の発表（さかきつずフェスタ）



▲坂城学で講師に教わりながらうどん作りを体験する1年生

4月に58名の新入生を迎え、全校生徒173名でスタートしました。令和2年度から指定を受けた、県立高校「未来の学校」構築事業実践校（少人数学級を研究する高校）も今年度が最終年度となりました。総合的な探究の時間である「坂城学」を中心に教科横断・地域連携型の探究活動、ICT機器を活用した個別最適な学び、2クラス募集の生徒を3クラスに分ける少人数学級編成等、一層の充実を目指すとともに、今年度は新たにクラスや学年の枠を超え、全職員で一人ひとりの生徒をより丁寧にかめ細かくサポートするために「学年担任制」を導入しました。これは学級担任を固定せず、4名の学年担任全員で3つのクラスをサポート（3年次は3名の学年担任と進路部が連携）するものです。これにより、教員の力、強みを最大限に活かし、より手厚く多面的に生徒をサポートすることを目指しています。

5月の「さかきつずフェスタ」では、坂城中学校出身の1年生2名がステージ発表のMCとして進行を務め、ダンス部は高校生らしいパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げました。

1年生は坂城学で「鉄の展示館」と「坂木宿ふるさと歴史館」を訪れました。また、別の日には、うどん打ち体験、そば打ち体験、五寸釘ナイフ作り体験、つけ場漁見学の4コースに分かれ、坂城町内外で体験学習を行いました。そば打ちでは、そば打ち3級の認定証もいただきました。

坂城学では他にも6月に、1年生がさかき千曲川バラ公園で開催されている「ばら祭り」に行きました。園内のばらを撮影し、写真に合った俳句を詠む「フォト俳句」に取り組みました。生徒は、ばらの香りを楽しみながら思い思いに俳句を詠みました。

学校と地域の連携・協働は、生徒の学びを広げ、深め、個人と社会を結びつけるために不可欠と考えます。今後も坂城高校は、地域の将来を担う人材育成に、地域の皆様のお力をお借りしながら、取り組んでまいりたいと思います。（内容は7月5日現在です。）

夏ばてを防ぐ 食事のポイント！

あっさりした食事ばかりでは疲れが取れにくくなるので、バランスの取れた食事を心がけたいですね。「主食」「主菜」「副菜」「汁物」をそろえて食べると自然と栄養バランスのよい食事になります。

偏った食事をしない

炭水化物やたんぱく質を体で利用する時に欠かせない「ビタミンB群」は、夏ばての予防に大切な栄養素です。体の抵抗力を高め、鉄の吸収を助ける「ビタミンC」も意識して取りたいですね。

ビタミンB群・Cを多く

暑くなると、のどごしのよい冷たい物や飲み物を多く取りがちですが、胃に負担がかかります。また、糖分の取り過ぎにもつながりやすく、食欲をなくしてしまう原因にもなります。

**冷たいものを
取り過ぎない**



食育だより

食育・学校給食センター
8212559

